

播磨臨海地域道路に伴う学校施設について (高砂小学校・高砂中学校について)

令和7年4月15日（火）
高砂市都市創造部

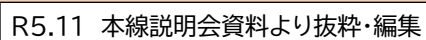
説明内容

1. ルート案について
2. 新たな学校づくり推進計画について
3. 環境への影響について

1. ルート案について



 高砂市 Takasago City



2. 新たな学校づくり推進計画について

【高砂小学校・高砂中学校付近のルート選定の考え方】

- ・操業への影響が甚大となる大規模工場、PCB盛り立て地をいずれも回避した上で、支障となる家屋数を極力減らすため、公共空間（公園、斎場）を可能な限り活用し、東西を最短で結ぶルートを選定
⇒ **市の考え** 高砂小学校・高砂中学校敷地をやむを得ず通過するが、総合的には、現在のルートが最適
- ・残地活用の観点から、小学校・中学校敷地の極力北側を通過するように配慮

【今後の市の取り組み】

- ・市が取り組む「公共施設の最適化検討」及び「新たな学校づくり推進計画」と密に調整を図り、新校舎の更新計画を決定し、新校舎の設計・建築を進めていく

高砂小学校・高砂中学校

播磨臨海地域道路

平成26年 高砂小・中一貫教育の開始

平成29年 計画段階評価着手

令和3年 公共施設全体最適化計画策定

令和2年 計画段階評価完了(ルート帯決定)

【目的】市施設全体の方向性や必要コストを示し、計画的な公共施設マネジメントを進める

【高砂小・中学校】一体校舎及び複合化の検討、延床面積30%縮減を目標

令和6年～ 公共施設の最適化(公共施設全体最適化計画の具体的な内容)見直し検討
新たな学校づくり推進計画(未来を見据えた小中学校施設の在り方、整備計画)の策定

密に調整

令和6年 都市計画の手續中

令和8年度以降 校舎の更新計画決定

時期未定

新校舎設計

時期未定

都市計画決定(ルート決定)

時期未定

新校舎の建築

時期未定

測量・詳細設計

用地買収・補償

時期未定

使用開始

工事着手

(播磨臨海地域道路のルート外で設計)

2. 新たな学校づくり推進計画について

◆高砂小・中学校の今後について

■「高砂市新たな学校づくり推進計画」を策定します！

市HP（抜粋・追記）

高砂市では、**少子化に伴い児童生徒数がピーク時の半分以下**となり、クラス替えができない1クラスのみ学年がある学校も増えてきています。また、**多くの校舎で老朽化**が進んでおり、今後建替えや大きな改修が必要な状況です。

このような現状をふまえ、将来を担う児童生徒に最適な教育環境を持続的に提供するため、**『高砂市新たな学校づくり推進計画』**を策定していきます。

計画で目標にすること

- 市立小中学校の規模や配置の適正化
- 児童生徒への最適な教育環境の持続的な提供



そのために取り組むこと

- 学校の適正な規模や配置を考えて校区再編案の検討
- 今後20年間の学校施設の整備基準（学校のあり方）とスケジュールの検討

2. 新たな学校づくり推進計画について 高砂市 Takasago City

課題 市内の学校で児童生徒の減少や施設の老朽化

高砂小・中学校のみならず高砂市内にある市立小学校及び市立中学校全てを対象とした、「高砂市新たな学校づくり推進計画」を令和9年9月末に決定予定です。

目的: 全ての子供たちに、より良い教育、安全安心、より良い教育環境を確保

令和6年9月: 「高砂市新たな学校づくり推進審議会」の開催

令和6年11月: 現状把握や課題抽出のためのアンケートを実施

令和7年3月まで: 各中学校区において説明会を開催

「新たな学校づくり推進計画」を決定(令和9年9月末予定)

- ・児童生徒の減少及び施設の老朽化等の課題解決
- ・最適な教育環境を持続的に提供

「公共施設全体最適化計画」及び「新たな学校づくり推進計画」と密に調整を図り、高砂小・中学校の機能を確保してまいります。

3. 環境への影響について

播磨臨海地域道路はまちづくりへの影響が大きいものであることから、関連する道路も含めて、都市計画の手続きを行うこととしています。

また、播磨臨海地域道路は環境アセスメント対象事業になりますので、排気ガス、騒音、振動、日照などの環境への影響について調査・予測・評価を行った結果を取りまとめた準備書を作成中です。

スケジュール

